野木町空家等対策計画（案）に関する意見募集の結果について

- ◆募集期間 平成30年2月1日（木）～平成30年2月28日（水）
- ◆意見提出結果 提出者数 2名 意見件数 11件
- ◆意見提出方法 文書提出 2件
- ◆意見提出者 町内在住者 1名、町内在勤者 1名

No.	頁（条項）	意見の概要（要旨）	検討結果	意見に対する考え方
第2章 空家等の現状と課題				
1	4頁3[2] 空家等の適切な管理と利活用	空家等となっても、適切な維持管理が行われていれば直ちに問題となることはなく、その後の利活用にもつながるため、所有者等に適正な管理を促し、一方で、町内には、適正に管理され、使用可能な空家等もあると考えられることから、このような空家等の所有者に対しては、利活用を促す必要があります。 <u>促す必要・・・を。促進します。</u>	ご意見としてお聞きます。	第2章では現状に対する課題を記述しているために、客観的な表現が必要となりますので、このままの記載といたします。
2	5頁3[4] 特定空家等に対する取組	周辺環境に悪影響を及ぼしている特定空家等については、空家対策法や関係法令等に基づき適切な措置を行い、所有者等に強く働きかける取組を検討する必要があります。 <u>検討する必要・・・を。します。</u>	ご意見としてお聞きます。	第2章では現状に対する課題を記述しているために、このような表現にとどめるのが妥当と考えます。
第3章 空家等対策の基本的な方針				
3	7頁3[1] （ウ）相続対策	このような状況を予防するため、高齢者世帯や高齢者が集まる機会を捉えて、所有者等が住居を次代へ適切に引き継いでいくための情報提供に努めます。 <u>情報提供の後に啓発の追加。</u>	ご指摘の通り、一部修正いたします。	良いご指摘ですので「啓発」を加え、「情報提供及び啓発に努めます。」と修正いたします。
4	7頁3[3] 空家等の利活用	空家等及び空家等を除却した跡地等については、積極的な利活用につながる施策を検討します。 <u>施策を検討します。</u> を検討の削除。	ご意見としてお聞きます。	今後、具体的な実施方法等について野木町空家等対策協議会及び、野木町空家等対策検討委員会に諮り、検討していく施策であるためこのような表現となっております。
5	7頁3[3] 空家等の利活用	（ア） 空家等を利用した隣接宅地の拡大 除却した空家等に係る跡地を隣接する宅地の拡大につなげる施策の検討 （イ） 空き家をリフォームする際の補助	ご指摘の通り、一部修正いたします。	ご指摘された「項目の追加」について、ご趣旨は理解できますが、（カ）（キ）（ク）は実施体制が整ってからの追加項目であれば、妥当と考えられます。

		<p>策</p> <p>(ウ) 空き家の解体補助策</p> <p>(工) 空家等に関する相談会の実施</p> <p>(才) 「空き家」所有者等への相談窓口の設置</p> <p>項目の追加</p> <p><u>力 町独自の空家バンクの見直し充実。</u></p> <p><u>キ 不動産業者との連携強化。</u></p> <p><u>ク 地域及び行政との共同利活用の推進</u></p>		<p>なお、「(カ) 空き家バンクの創設」として追加いたします。</p>
--	--	--	--	--------------------------------------

第5章 対策の実施体制

6	11頁4[2] 空き地に関すること	<p>[1]空き家及びその敷地に関すること 産業建設部都市整備課都市計画係 TEL 0280-57-4161</p> <p>[2]空き地に関すること 町民生活部生活環境課生活環境係 TEL 0280-57-4129</p> <p>4の相談窓口について、(2)は不要。</p>	一部修正いたします。	「空き地の管理に関すること」に修正いたします。
---	-------------------	---	------------	-------------------------

その他

7		<p><u>必要</u>の表記が No.1,No.2 の他に3か所あるが、必要でなく実施することではないか。</p> <p>1. 6頁第3章3◇計画の方向性及び指針 空家等の適切な管理は第一義的には、当該空家等の所有者等の責任において行われるべきであります。放置された空家等については管理不全の結果、安全安心な町民生活に影響を及ぼすことにつながることから、町として公益上必要な対策を適切に講じる<u>必要があります。</u> また、空家等対策については、居住中の対応から除却後の跡地利用まで、各段階に応じた効果的な施策が<u>必要</u>です。</p> <p>2. [1]空家化の予防・抑制 このようなことから、現に存在する空き家について対策を講じることとあわせ、新たな空き家の発生を抑制することが<u>必</u></p>	ご意見としてお聞きします。	<p>1. この項目では、後に続く「本計画では、各段階に応じた各種施策を実施していきます。</p> <p>[1] 空家化の予防・抑制</p> <p>[2] 空家等適正管理の促進</p> <p>[3] 空家等の利活用</p> <p>[4] 管理不全の空家等への指導等」に繋げるための課題として記述しているためこのような表現になっております。</p> <p>2. この項目では、後に続く具体的な取組を進めるための課題を記述しているためにこのような表現になっております。</p>
---	--	---	---------------	--

	<p><u>要となります。</u></p> <p>3. 10 頁第5章3[4]区・自治会との連携 地元を良く知る区・自治会の協力なしでは、空家等の問題は解決しません。 町は、区・自治会から寄せられた空家等に関する情報などに注意を払い、問題の早期解決に努める<u>必要があります。</u> また、特定空家等に該当していない空家等であっても、自然災害などにより、急速に腐朽が進行したり、倒壊のおそれのある状態となることも考えられます。 このため、こうした危険な状態となっている空家等に関する情報を区・自治会から提供を受けることにより、迅速な対応を図るものとしします。</p>		<p>3. この項目では、区・自治会と連携し空家等問題の迅速な対応を図るための課題として「早期解決」と「特定空家等に該当していない空家等の危険性」を挙げているため、このような表現になっております。</p>
8	<p><u>検討</u>の表記が No.4 の他に4か所あるが見直してはどうか。</p> <p>1. 5 頁第 2 章 3[4]特定空家等に対する取組 周辺環境に悪影響を及ぼしている特定空家等については、空家対策法や関係法令等に基づき適切な措置を行い、所有者等に強く働きかける取組を<u>検討する必要があります。</u></p> <p>2. 7 頁第3章3[3]空家等の利活用 (ア) 空家等を利用した隣接宅地の拡大 除却した空家等に係る跡地を隣接する宅地の拡大につなげる施策の<u>検討</u></p> <p>3. 8 頁第4章1[1]特定空家等措置 所有者等やその相続人など、空家を適切に管理する義務がある者が不在である場合には、法に基づく行政代執行を含めて町が所有者等に代わり、危険性を除去することも<u>検討</u>します。</p> <p>4. 11 頁第5章3[5]その他の組織・団体との連携</p>	<p>ご意見としてお聞きします。</p>	<p>1. No.2で回答済み</p> <p>2. (ア) の項目を説明している文章となります。まだ具体的な方法が決定していないため、このような表現になっております。</p> <p>3. 9 頁のフロー図のように行政代執行を行う前に協議会に報告する必要が出てくるため、このような表現になっております。</p> <p>4. 現時点で連携が考えられる組織や団体を挙げています。</p>

		見守りネットワークや地元の民生委員等と協力することにより、空家等の早期発見、状況の把握等に繋げる取組を検討します。また、日常配達業務を行っている日本郵政株式会社や地元新聞販売店との連携について検討します。		今後、連携の具体的な内容や、相手方との交渉を含め、野木町空家等対策協議会及び、野木町空家等対策検討委員会に諮り決定していく施策のため、このような表現になっております。
9		参考として、現在実施している施策。例として、定住促進補助金等の記載。	ご意見としてお聞きします。	定住促進補助金は、定住促進事業により実施している施策であります。今後、空家等対策の趣旨と合致する面があれば、別途周知等を図ってまいります。
10		シェアリングエコノミーの現在、空き家を所有することをリスクと考える価値観があると思う。住民ニーズを起点に、試して住んでもらうのが重要だと思う。 <ul style="list-style-type: none"> ・DIY可能な賃貸物件 ・リノベーション済物件 ・働き方改革の一環で、テレワーク可能なコワークスペースやサテライトオフィスを駅前の物件 ・店舗に関して、商工会と連携して起業創業支援パッケージ付きのテナント ・一定条件での店舗改修費用の融資に関して、金利をサポート ・入居率の低いアパートに関して、民泊として活用。グリーンツーリズムやスポーツツーリズムの宿泊施設として使用。 ・民泊物件に関して、リフォームローンの金利をサポート。 	ご意見としてお聞きします。	数々のご提言、ありがとうございます。今後、施策を検討する上で、参考とさせていただきます。
11		野木町の強みである <ul style="list-style-type: none"> ・交通利便性(JR) ・住宅と駅のコンパクトシティ ・日用品の買い物が便利(コンビニ、ドラックストア、スーパー) 長期滞在やシェアハウスとしての民泊は、野木町のイノベーションになり得ると思います。	ご意見としてお聞きします。	数々のご提言、ありがとうございます。今後、施策を検討する上で、参考とさせていただきます。